

## 形態安定性の評価

### JIS L1924 「形態安定加工ワイシャツ試験方法及び評価基準」が新規制定されました

この規格は、アパレル製品等品質性能対策協議会の「形態安定加工ワイシャツの評価方法」と同様に、形態安定性及び加工の耐久性を高めた製品（ワイシャツ）を評価する方法です。

洗濯処理後の「生地外観平滑性」「シームパッカリング」「保形性」「寸法変化率」について評価用標準と比較して等級評価などを行います。

洗濯処理は、JIS L1930 C4N 法が採用され、評価基準値が記載されました。

(C4N：洗濯温度 40℃でノーマルかくはん)



#### — 形態安定性試験とは

この規格では形態安定加工を施されたワイシャツが対象となります。

試験は洗濯処理とタンブル乾燥を繰り返します。繰り返し試験 1 回目と最終回では、タンブル乾燥処理の前につり干し乾燥処理を行います。洗濯の繰り返し回数は 20 回または 10 回で、評価部位は下記の通りです。

生地外観平滑性	：後身ごろ
シームパッカリング	：えり、カフス、前立て、ポケット、わき縫目、ヨーク、アームホール
保形性	：えり、カフス、前立て
寸法変化率	：えり回り、ゆき

#### — 洗濯繰り返し 10 回・20 回試験の評価基準値

評価項目	評価部位	評価基準	
		繰り返し 10 回試験	繰り返し 20 回試験
生地外観平滑性	後身ごろ	3.2 級以上	3.0 級以上
シームパッカリング	えり	3.5 級以上	3.0 級以上
	カフス	3.0 級以上	2.5 級以上
	前立て	3.0 級以上	2.5 級以上
	ポケット	3.0 級以上	2.5 級以上
	わき縫目	2.5 級以上	2.5 級以上
	ヨーク	2.5 級以上	2.5 級以上
	アームホール	2.5 級以上	2.5 級以上
保形性	えり	3.0 級以上	2.5 級以上
	カフス	3.0 級以上	2.5 級以上
	前立て	3.5 級以上	3.0 級以上
寸法変化率	えり回り	-1.5% ~ +1.0%	-2.0% ~ +1.0%
	ゆき	-1.5% ~ +1.0%	-2.0% ~ +1.0%

お問い合わせ先

業務部 TEL : 03-3241-2545

または、最寄りのラボまでお気軽にお問い合わせください